

校長室の窓

第 4 号

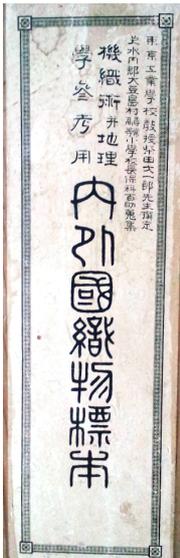
2013, 7, 19

長野県蓼科高等学校長
金原 正

----- 保科百助先生収集の織物標本について -----

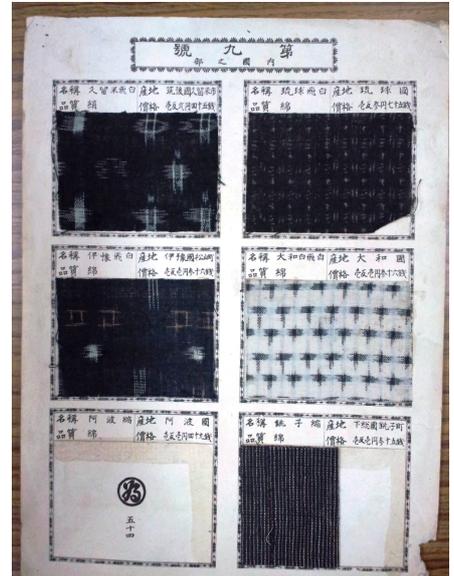
本校初代校長である保科百助先生は、教育者であると同時に鉱物収集家・鉱物研究者としても知られており、校長室にも『長野縣地学標本』他の岩石鉱物標本が残されています。これらは近年改めて注目されており、県の内外から複数の問い合わせが寄せられています。このことについては別の機会に譲り、今回は先生が収集された織物標本について紹介をしたいと思います。

岩石鉱物標本箱の上に一見無造作に重ねられた木箱の中に、写真のような布地を貼り付けたカードが収められています。箱の蓋には『機織術井地理学参考用内外國織物標本』とあり、大豆島尋常高等小学校校長時代の1899年（明治32年）に作成し、希望する学校に頒布した300組の内の一つだと思われます。



当時、彼は月俸25円以外収入がない中で130円を出して116種類の織物を購入し、この標本を作りました。現在のA4判よりひと回りほど小さいカードに7~8cm×5~6cmに切った布を6枚ずつ貼って、右のように、名称・品質・産地・価格を記録しています。現在、本校には写真のタイプ（これがオリジナルの形だと思われます）の標本は3枚しか現存しておらず、また布が台紙からはがれてしまって欠損しているものもあり、残念ながらその全体像はわかりません。その後、1906年（明治39年）7

月付けで「織物標本二組あるを以て其一をさきて地理の物産標本になさんため地方わけになす」というの書き付けとともに、「北海道」「関東」「信濃」「九州」等の地方別に整理し直したカードが16枚残されていますので、両者をあわせることにより収集品の多くを確認することができそうです。また、これとは別に「蓼科乙種農学校」と墨書きされた箱の「織物標本」も残されていますが、その紹介は次号に回します。いずれにせよ、彼の教育にかける情熱の一端を知ることができるのと同時に、当時の物産を知る貴重な資料と言えます。整理をして大切に伝えていきたいと思ひます。



號 九 第	
部之國內	
名称 久留米飛白 品質 絹 産地 筑後國久留米 忝反 貳円四十五錢	名称 琉球飛白 品質 綿 産地 琉球國 忝反 參円七十五錢
名称 伊豫飛白 品質 綿 産地 伊豫國松山町 忝反 壹円參十六錢	名称 大和白飛白 品質 綿 産地 大和國 忝反 壹円參十六錢
名称 阿波縮 品質 綿 産地 阿波國 忝反 壹円四十九錢	名称 銚子縮 品質 綿 産地 下総國銚子町 忝反 壹円參十五錢

* 「阿波縮」は実物が欠損している。

* 台紙の(為)は、長野市の呉服店「丸為」(まるため)のマーク。丸為と大門町の山城屋商店から購入している。

地域高校協会総会が開かれました

去る6月21日(金)～22日(土)に下高井農林高校(木島平村)を会場に地域高等学校協会の総会・研究協議会が行われ、校長と眞瀬垣PTA会長の二人で参加をしてきました、地域高等学校協会とは、「旧組合立・市町村立など地域性を有する高等学校及び地域キャンパス校をもって組織」され、「相互の連携ならびにそれぞれの地域との協力を緊密にし、学校教育振興を図ることを目的」としている組織です。全県で18校が加盟しており、東信地区では、本校のほか、小海・軽井沢・望月の各高校が参加しています。当日は、軽井沢高校の田澤校長から「PTAと学校との連携」と題した実践発表があり、その後、各校のPTA活動について情報交換、地域高校協会実態調査の報告、



苔玉、うまくできました



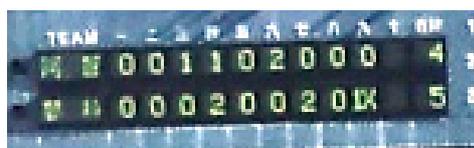
県に提出する「地域高等学校の充実・振興に関する要望書」の確認、高校教育課主幹指導主事による講話等、二日間熱心に討議と研修が行われました。初日の会議の後、アトラクションとして下高井農林高校の生徒諸君を講師にした苔玉づくりの体験をしました。高校生の指導を受けながら楽しいひとときを過ごすこともできました。同じような条件のもとにあ

る各高校との情報交換やPTAの交流の場として貴重な機会です。来年度は本校に理事長の当番が回ってきて立科町内で開催をする予定です。地域の皆さんにもお世話になると思いますが、よろしくお願い致します。

トピックス

* 先日、**茶華道部**の皆さんが、玄関と校長室に花を活けてくれました。周囲が明るくなるとともに心も和みます。ありがとうございました。

* **野球部初戦突破!** (対阿智高校、於諏訪湖スタジアム)



夏の大会、本校は2回戦からの出場でした。18日諏訪湖スタジアムでの第3試合、1回戦で豊科高校を破った阿智



茶華道部の作品(校長室)

高校と対戦しました。先行されて追いつき、突き放されてまた追いつき、最後はサヨナラ勝ち!ねばり強さを発揮した素晴らしい試合を見せてくれました。また、気温31度の猛暑の中、応援の生徒諸君もカー杯声を出してがんばりました。グラウンドとスタンドが一つになっていました。「小さくてもキラリと光る蓼科高校」の姿がそこにありました。感動の一日でした。地域の皆さん、応援ありがとうございました。3回戦は、21日(日)に同じ諏訪湖スタジアムで田川高校と対戦します。引き続き応援をお願い致します。



☆『校長室の窓』は本校のHPに掲載しています。写真もカラーでご覧いただけます。

文化財から地域を学ぼう③

中山道の本陣巡り 和田宿～望月宿

本陣とは、江戸時代の宿場で大名や旗本・幕府の役人・勅使・宮・門跡などの宿泊所として指定された家をいいます。今回は、近隣に残されている中山道の本陣跡を歩いてみました。

和田宿本陣河内屋

国史跡「中山道」の構成要素

所在地：長和町和田

この建物は1861年（文久元年）に建設されたものです。この年の3月に宿場の大半を焼失する大火がありましたが、11月の皇女和宮降嫁の宿泊地とされていた和田宿ではただちに宿場の復興が行われ、その中心建物として再建されました。本陣建物は大名などの宿泊に当てられる「座敷棟」と本陣の所有者が生活する「居室棟」に分かれています。この建物は「居室棟」にあたります。



昭和61年より解体修理が行われ5年の歳月をかけて往時の姿に復元されました。1987年（昭和62年）10月に、旧中山道の和田峠から男女倉口まで4.7kmが史跡指定され、1991年（平成3年）5月に本陣河内屋・唐沢一里塚等が追加指定されました。

長久保宿旧本陣石合家住宅

長和町指定有形文化財

所在地：長和町長久保589

石合家は長久保宿創設当時から江戸時代を通じて本陣と問屋を勤め、四代目当主のもとには真田信繁（幸村）の娘が嫁いでいます。



現在の建物は寛永年間（1624-43）に建てられたものと推定され、中山道旧本陣中、最古の建物であるといわれています。大名や公家等の賓客が利用した「御殿」と呼ばれる座敷棟と幕末頃の構築と推定される表門が現存し、ともに町文化財に指定されています。

旧芦田宿本陣土屋家住宅

長野県宝

所在地：立科町芦田2610-1



芦田宿は1597年（慶長2年）、北佐久では一番早く開かれた宿場町です。土屋家は問屋を兼ね、宿の開祖でもありました。現在の建物（旧客殿）は1800年（寛政12年）に改築されたもので、内部には大名や公家などが泊まった上段の間や広間・小姓部屋・湯殿・雪隠とほぼ原形が残されています。江戸時代後期の姿を留めている大変貴重な存在と評価され、1988年（昭和63年）に長野県宝に指定されました。

望月宿本陣

佐久市史跡「中山道」（布施～望月～茂田井）

所在地：佐久市望月247



旧望月宿の本陣は現存せず、その跡地に望月歴史民俗資料館が建てられています。古文書・宿札・絵図など、宿場町の貴重な資料が展示されています。隣の小児科医院が庄屋・本陣・問屋の三役を兼ねた大森家で、玄関脇に「御本陣」の看板が掲げられています。望月宿では、旅籠屋と問屋を兼ねた真山家住宅が国の重要文化財に指定されているほか、出桁造り・連子格子・卯建などのある家が多く、当時の面影を偲ぶことができます。

※勅使…天皇の使者。天皇の代理として天皇の命令を伝達する役目を負う。

門跡…皇族や公家が出家して住職を務める特定の寺院またはその寺の住職のこと。寺としては最高級の格を有する。